

あきた新エネルギー研究会 特別講演会のお知らせ

日本「再創造」

～プラチナ社会の実現をめざして～

こみやま ひろし
講師：小宮山 宏 氏

三菱総合研究所理事長・前東京大学総長

日 時 平成 24 年 3 月 6 日（火） 14:00～16:00

会 場 秋田ビューホテル 4F 「飛翔の間」



※ 講演会終了後、講師を囲んで名刺交換会（交流会）を行います。

参加希望の方は申込書で事前登録が必要です。

会費：5 千円（当日会場で徴収します。講演会のみご参加の方は無料です。）

（講師プロフィール）

1944 年栃木県生まれ。1967 年東京大学工学部化学工学科卒業。1972 年同大学大学院工学系研究科博士課程修了。1988 年東京大学工学部教授、2000 年工学部長、大学院工学系研究科長、2003 年副学長などを経て、2005 年 4 月第 28 代総長に就任。2009 年 3 月に総長退任後、同年 4 月に三菱総合研究所理事長、東京大学総長顧問に就任。東大総長時代には、20 世紀において爆発的に増大した知識の適切な動員と統合を可能にすべく、知の構造化を提唱。構造化の教育研究により、拡大してしまった科学と社会との距離感の短縮を図る。また、自律分散協調系をキーワードに、いくつかのプロジェクトを開始し、その中の一つ、学術俯瞰講義では、自ら教養学部学生に対し直接講義も行った。

【講演要旨】

小宮山先生を中心とする研究グループが提唱している東日本大震災からの復興に向けた「日本の地域『新生』ビジョン」についてのお話と課題解決型の次世代社会モデルとして「プラチナ社会」について。

「プラチナ社会」とは、成熟し少子高齢社会に突入した日本が目指すべき姿であり、「省エネ」と新エネルギー導入による「創エネ」によって実現可能であるとする「エネルギーの消費を減らした経済成長」の実証を唱えている。全国一の人口減少県である秋田県が全国に先駆けて『秋田モデル』として発信しなければならない課題としてご示唆いただく。また、小宮山先生はシルバー成長産業にも造詣が深く、高齢社会の秋田県が目指すべき“あるべき姿”を新エネルギーという切り口を織り交ぜながらからご講演いただく。

お問い合わせ：あきた新エネルギー研究会事務局
秋田県立大学 地域連携・研究推進センター内 石川 直人

TEL 0184-27-2946
FAX 0184-27-2945

E-MAIL ishikawa@akita-pu.ac.jp